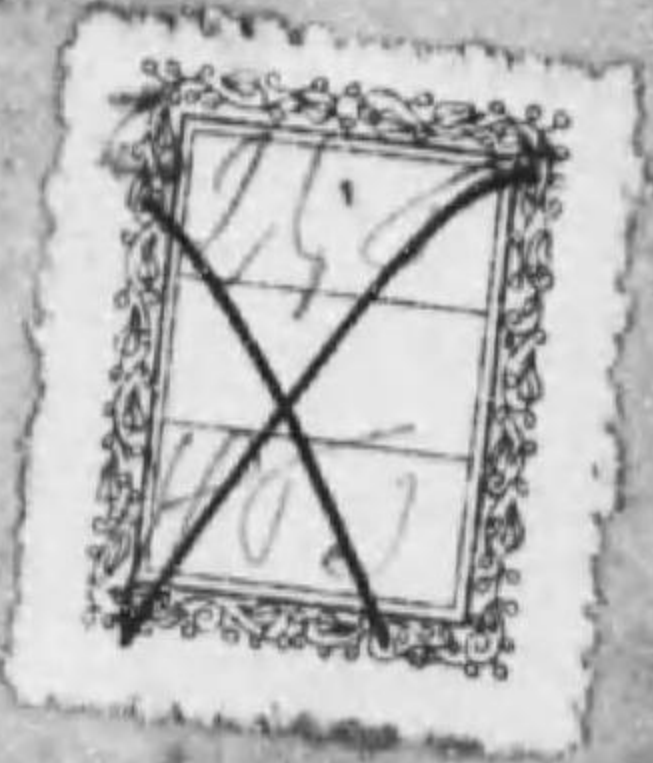


特113

889



始



43113
889



ツレ	ワ	後シテ	老
從僧二人	キ旅僧	平忠度の靈	翁

忠た
度の

内之部卷之八ノ二

右同断	着流し僧	〔圖〕三光 朝食尉の内 襟 尉髪 着附無地鬘斗目 水衣 腰帶 杖 木の葉持つ	〔圖〕中將、今若にても 黒垂 梨子打鳥帽子 白鉢巻 着附厚板 白大口 單法被(長絹にてても) 腰帶 太刀 扇 矢 短冊つけ後にさす)
-----	------	--	--

目番二	類別	浦の磨須國津攝	所
月			季

天正
5. 4. 7
内交

忠度一

解説

ワキ、同ツレ二人と次第にて出で、舞臺に入り、向き合ひ、
ワキ次郎表 『花をも憂しと捨つる身の』 と論ふ。名宣、道行濟み、三人共ワキ坐に行き下にある。

シテ、一聲にて出で、舞臺に入り、常坐にて留め論ふ。

シテ二枚裏 『實に世を渡る習ひとて』 此處は納めて論ふべし。以下のシテの論種々緩急あり、口傳。

ワ四枚裏 『如何に是成老人』 此詞はシテへかかり論ふべし。

シテ五枚裏 『柴といふもの、候へば』 此處は少し靜めて論ひ、返し地よりさらりをつける。此一段シテに

形あり、見計ひ論ふ。次のワキとの懸合も心得種々あり、口傳。

地七枚裏 『名も忠度の聲聞きて』 此地はさらりをつけて論ふ。中入。

間濟み、待論、待論果て、
後シテ、一聲にて出で、橋懸にて開き論ふ。

後九枚裏 『はづかしやなきあとに』 此處は納めて論ふべし。此後緩急多けれども口傳なり。

シテ十枚裏 『然るべくは作者をつけてたび給へと』 此處にて舞臺に入る。

ク十枚裏 『實にや和歌の家に生れ』 クリ地にて中に行き床几。

地十一枚裏 『さもいそがはしかりし身の』 此返しにてシテ立つ。是より以下種々形あり。

地十四枚裏 『ゆきくられて』 此後、カケリ。

地十五枚裏 『扱は疑ひあらしの音に』 此處はさらりとづけ、『御身此花の』 よりカフリと心持變
へ論ひ納むべし。

左
 右
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

おくはるまも... 申に自^ニ愛の
... 風...
... 和...
... 人^サ倫^ニ...
... 中^サ...
... 文^ニ...

... 眼...
... 院...
... 探...
... 乃...
... 時...
... 乃...
... 乃...



著作權所有

大正五年四月

四日印刷
九日發行

著作者 寶生九郎

發行者 江島伊兵衛

發行所 椀屋謠曲書肆

印刷者 田村茂太郎

此の書は、我が國の歴史を、
その根源から追ひ求め、
その本質を探究するもの
である。其の意義は、
我が國の歴史を、
その根源から追ひ求め、
その本質を探究するもの
である。

終

